

| ディプロマ・ポリシー | | | カリキュラム・ポリシー | アドミッション・ポリシー |
|--|-----|--|---|--|
| <p>本専攻博士後期課程では、大学の定める修業年限以上在学し、次のような能力・資質を備えた上で、16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の意見を聴いて、学長が課程修了を認定します。課程修了が認定された者には、博士（文学）の学位を授与します。</p> | | | <p>本専攻博士後期課程ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような教育方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> | <p>本専攻博士後期課程は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた人を求めます。</p> |
| 1. 知識・理解 | 1-1 | 英語学を幅広くかつ深く理解し、それに関する正確で高度に専門的な知識を持っている。 | <p>1. 英文学研究、米文学研究、英語学研究（英語教育学を含む）の3分野からなる教育課程を編成し、研究者として自律的に研究を行う力をつけることができます。</p> <p>2. 研究指導については、指導教授によって、特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（必修科目）を通して行われ、博士論文作成のための指導を受けます。</p> <p>3. 標準修業年限を超えて履修することができる長期履修学生制度や昼夜開講制度があり、修学上の多様なニーズに配慮します。</p> <p>4. 教育課程全般を通じて、少人数による双方向的な教育方法を活用し、学生の理解を高めます。</p> <p>5. また、教育課程の評価については、修了年次に提出する博士論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p> | <p>修士課程で培った専門性をさらに高め、英語英米文学のみでなく、英米文化全般について、研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な業務に従事するために必要な学識と能力を有したいと希望する者で、優れた資質を持ち、学問に対する意欲にあふれた者を受け入れます。</p> |
| | 1-2 | 英米文学を幅広くかつ深く理解し、それに関する正確で高度に専門的な知識を持っている。 | | |
| | 1-3 | グローバルに活躍できる人材として、必要な教養および高度に専門的な知識を持っている。 | | |
| 2. 技能・表現 | 2-1 | 専門分野の内容を十分に理解し、研究成果を発表することができる能力を身につけている。 | | |
| | 2-2 | 専門分野の英語を十分に理解し、コンピュータを利用して情報を収集・発信できる。 | | |
| 3. 思考・判断 | 3-1 | 自分の考えを論理的に組み立てる力を持っている。 | | |
| | 3-2 | グローバルかつ客観的な視点から物事を判断し、主体的に問題に対応する力を持っている。 | | |
| | 3-3 | 専門分野の知識に基づき、先行研究を客観的に批判する思考力および高度に専門的な学識を持っている。 | | |
| 4. 態度・志向性 | 4-1 | 知的好奇心を持ち続け、専門分野を自律的に究めることができる。 | | |
| | 4-2 | 自分とは異なる考え方を積極的に取り入れ、国際的にも活躍できる力を持ち、積極的に学術界に貢献することができる。 | | |